

2026年度 事業計画

(2026年4月1日から2027年3月31日まで)

活動の指針

一般社団法人 清水マリン・アンド・ビーチスポーツ振興協会は、清水が持つ海・浜辺という資源を最大限に活用し、海洋文化都市としてさらに発展することを目的としています。

当協会は2019年の設立以来、スポーツ団体やイベント等への支援、スポーツ振興につながる環境整備の提言などを通じて、マリンスポーツおよびビーチスポーツの振興に取り組んできました。今年度もこれまでの活動を継承し、清水港周辺地域のマリンスポーツおよびビーチスポーツの振興のために、スポーツ団体への支援、広報活動、関係団体・機関との連携による情報収集、環境整備に向けた提言などを進めていきます。

また、清水港周辺地域のマリンスポーツ・ビーチスポーツの振興による地域の活性化に寄与すべく、各団体の支援につながる新たな活動も引き続き検討します。

静岡県から受託している三保内浜エリアマネジメント事業は受託4年目を迎え、受託期間も残り2年となりました。当エリアの環境の整備、賑わいの創出に向けて、スピード感をもって取り組みを進めていきます。今年度も(株)gosea's、(有)nac. と共に「コンソーシアム」として、エリアの価値向上に向けた活動を進めます。そのために、新たな収入源の創出、環境整備を進めるとともに、行政とも連携しながら、安心して利用できるエリアづくりを目指します。

主な活動

1. 会議の開催

それぞれの会議を以下のとおり開催します。

(1) 定時社員総会

第7回 定時社員総会 2026年6月11日(木) に開催

(2) 理事会

第1回 理事会 2026年5月22日 開催(書面)(前期決算報告、他)

第2回 理事会 2026年6月11日(木) に開催(社員総会後理事会)

第3回 理事会 2026年11月に開催予定(中間報告、他)

第4回 理事会 2027年3月に開催予定(来期事業計画の承認)

※上記の他、必要に応じて運営委員会を開催します。

2. スポーツ団体、大会・イベント等への支援

(1) 助成金の交付

清水港周辺地域で行われているマリンスポーツ・ビーチスポーツにおける、大会・イベント等の定着・発展を主な目的とし、当該地域で活動を行う団体に対し、活動支援金として合計 350 万円の予算を設定します。

尚、広義には同エリア内で開催されるレクリエーションイベントにも活動支援の輪を広げていきます。

(2) 備品の購入、支援団体への無償貸与

各団体が行う活動の間接的な支援として、当協会で所有する AED やビブス、救命胴衣などの備品の無償貸与を引き続き行っていきます。また、各団体とのコミュニケーションを通じて、広く利用いただけるような備品が出てきましたら、当協会での購入を検討します。さらに、所有する備品がより多くの団体・イベントで活用いただけるよう、支援先各団体への働きかけも行います。

3. 外部広報活動の推進

(1) ホームページ

協会および支援団体の取り組みを周知し、各団体の大会、イベントの情報発信をするツールとして有効に活用します。

(2) テレビ CM

昨年度に引き続き、当協会ではテレビ CM の放送を行います。トップシーズンとなる夏季に広告宣伝を展開し、地域の皆さまに向けた発信を強化します。

露出度を高めることで、地域の皆さまに当協会の取り組みをより広く知っていただき、マリンスポーツ・ビーチスポーツを楽しめる環境づくりを進めながら、三保内浜の賑わい創出に一層貢献していきます。

4. 関係団体および関係機関への情報収集

各団体に対して、資金や物資に限らないさまざまな側面で支援ができるよう、地域のマリンスポーツ・ビーチスポーツの振興に関わる団体・機関への情報収集を行います。

また、静岡県が主催するマリンスポーツ・ビーチスポーツを開催する市町との意見交換会に参加する他、協会の運営委員会を通じて、活動団体同士の横のつながりを深めて行きます。

更に、市民、特に学生世代に対して海・浜辺と接する機会を創出するべく、市内の大学等の教育機関にコンタクトし、部活動やサークルなどの組織と共同で、新しい企画を生み出すことができないか、リサーチを開始します。

5. マリンスポーツ・ビーチスポーツ振興につながる環境整備の提言

多くの市民がマリンスポーツ、ビーチスポーツを日常的に楽しむことができるよう、施設や環境整備を提言していきます。2023年に静岡県より指名を受けた三保内浜エリアマネジメントについて、今年度も引き続き環境保全活動（清掃・安全巡回）を定期的を実施します。新たなイベントや大会の誘致につながるよう、同地の整備・管理を行い、三保内浜をさらに魅力ある空間にするための活動を続けます。

以上

2026年度 収支予算 [損益計算書ベース]

2026年4月1日から2027年3月31日まで

【参考値】

(単位：円)

	'25年度計画	'26年度計画	備考
※ 一般正味財産のみ			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	7,500,000	7,600,000	1,500千円×2団体=3,000千円 500千円×5団体=2,500千円 100千円×21団体=2,100千円
正会員受取会費	7,500,000	7,600,000	
経常収益計	7,500,000	7,600,000	
(2) 経常費用			
事業費	5,476,000	5,458,900	
消耗品費①	200,000	200,000	活動支援備品購入
減価償却費	0	0	AED償却
支払助成金	3,900,000	3,500,000	交付助成金合計 3,040千円 予備枠460千円
広告宣伝費	1,376,000	1,758,900	CM放映料1,210千円、HPセキュリティ548千円
賃借料	0	0	
管理費	2,588,350	2,622,200	
消耗品費②	10,000	15,000	通知用封筒 文具
租税公課	10,480	12,000	司法書士分源泉所得税
旅費交通費	0	0	
通信費	17,000	31,000	郵送費等
支払手数料	155,670	149,000	司法書士報酬
会議費	880,000	900,000	会議開催費用等
諸会費	50,000	50,000	海洋文化・研究拠点化推進協議会 会費
業務委託費	1,465,200	1,465,200	事務局・会計業務委託費
経常費用計	8,064,350	8,081,100	
当期経常増減額	-564,350	-481,100	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取利息	0	0	
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
県民・市民税	71,000	71,000	
経常外費用計	71,000	71,000	
当期経常外増減額	-71,000	-71,000	
当期一般正味財産増減額	-635,350	-552,100	
一般正味財産期首残高	7,112,368	7,349,795	
一般正味財産期末残高	6,477,018	6,797,695	

(注) 消費税等の会計処理は税込方式としております。

支払助成金については、別紙にて説明しております。